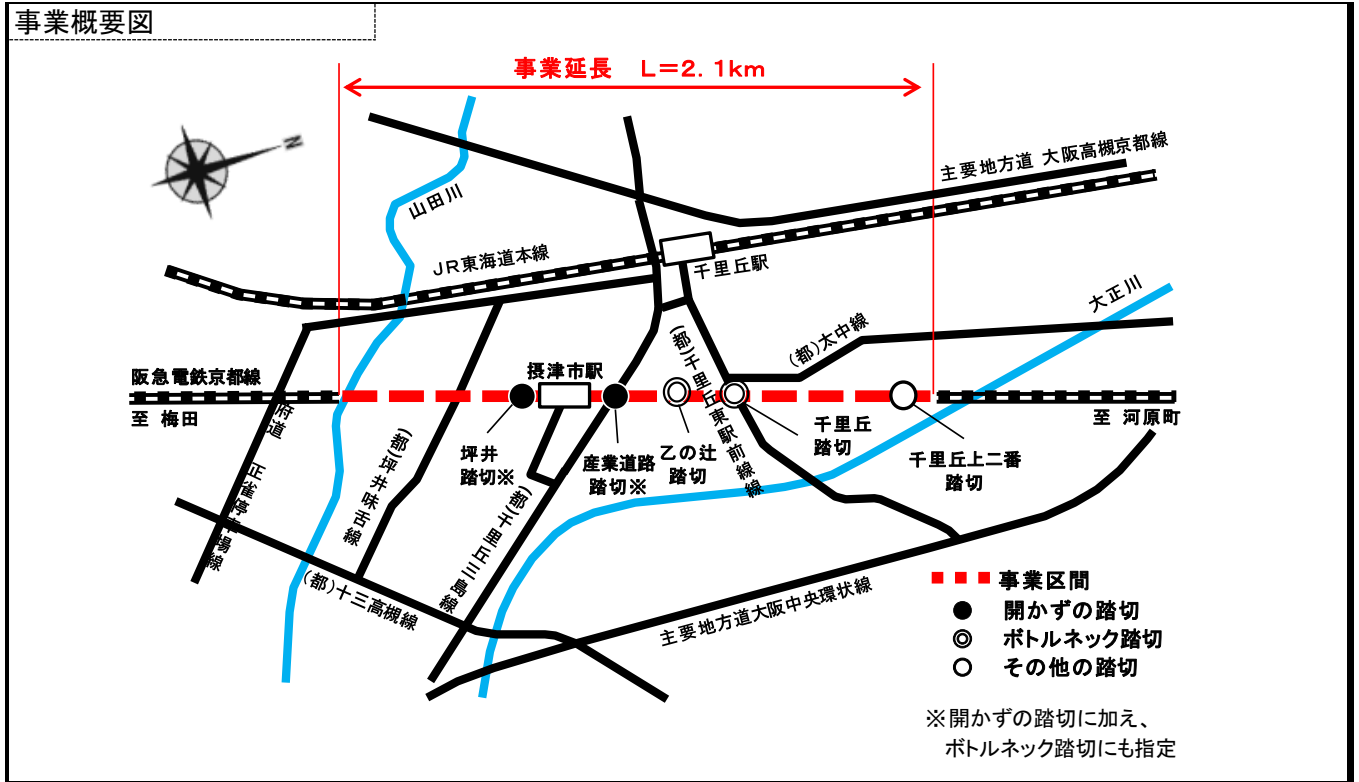


## 再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課  
担当課長名：本田 武志

事業名	阪急電鉄京都線（摂津市駅付近）		事業区分	連続立体交差	事業主体	大阪府
起終点	自：摂津市庄屋 至：茨木市丑寅				延長	2.1 km
事業概要	<p>本事業は、阪急電鉄京都線の摂津市駅付近の約2.1kmにおいて鉄道を立体化することにより、5箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。</p>					
平成29年度事業化	平成28年度都市計画決定	平成30年度用地着手	工事着手未定			
全体事業費	432億円	事業進捗率	1%	供用済延長	0 km	
計画交通量	211,716台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	(残事業)/事業全体	総便益	(残事業)/事業全体	基準年
	(事業全体) 2.6	310.8/311.9億円		819/819億円		平成30年
	(残事業) 2.6	事業費：309.8/310.9億円 維持管理費：1.1/1.1億円		走行時間短縮便益 804.8/804.8億円 走行経費減少便益：2.9/2.9億円 交通事故減少便益：11.3/11.3億円		
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C= ~ (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C= ~ (交通量 ±10%) 事業費：B/C= 2.3~2.9(事業費 ±10%) 事業費：B/C= ~ (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= 2.3~3.3(事業期間 ±10%、±2年) 事業期間：B/C= ~ (事業期間 ±20%)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏切除却により踏切事故が解消される。</li> <li>・踏切除却及び渋滞緩和により緊急車両の通行の円滑化が期待される。</li> <li>・駅及びその周辺施設の整備にあわせバリアフリー化が促進される。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の事業完成を望んでいる。</li> </ul>					
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続について妥当である。</li> </ul>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に無し。</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度に事業認可取得。平成30年度から用地測量等に着手。</li> </ul>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度も用地買収に向けて必要な用地測量や鉄道等の設計を行う。</li> </ul>					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に無し。</li> </ul>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。